

塩 谷 遺 跡

2000年6月

河内長野市遺跡調査会

序 文

大阪府の南東部に位置する河内長野市は、豊かな自然に恵まれ、高野街道に代表される和歌山や奈良へ向かう街道の要衝として発展してきた街です。このため市内には数多くの文化財が残されています。

このような河内長野市は、大阪市内への通勤圏に位置しているため、住宅都市として発達してきました。この住宅開発がもたらした文化財や自然に対する影響も大きいものがあります。とくに、地下に眠る埋蔵文化財は開発と直接に結び付く大きな問題です。

遺跡に託されている河内長野の先人達のメッセージである文化遺産を保護・保存し、さらには未来の市民へ伝えていくことは、現代に生きる私達の責務であります。河内長野市に於いては、重要な課題である開発と文化財保護との調和のため、開発に先立ち埋蔵文化財の発掘調査を実施し、その把握に努めています。

本書は発掘調査の成果を収録しています。皆様が先人達の残したメッセージの一部でもある文化財に対するご理解を深めていただくとともに、文化財の保護・保存・研究するための資料として活用していただければ幸いです。

これらの発掘調査に協力していただきました施主の方々の埋蔵文化財への深いご理解に末尾ながら謝意を表すものです。

平成12年6月

河内長野市遺跡調査会
理事長 福田弘行

例　　言

1. 本書は平成11年度に河内長野市遺跡調査会が国立大阪南病院から委託を受けた塙谷遺跡（S 1099-5）の発掘調査報告書である。
2. 調査は河内長野市教育委員会教育部社会教育課主幹尾谷雅彦、同課文化財保護係鳥羽正剛・太田宏明を担当者として実施し、内業調査は河内長野市立ふれあい考古館館長中西和子が補佐した。
3. 調査にかかる事務は河内長野市遺跡調査会事務局長大塚幸男（本市教育委員会教育部社会教育課課長補佐兼務）が主担した。
4. 本書の執筆・編集は鳥羽が行い、編集は松尾和代がこれを補佐した。文責については鳥羽が負うものである。
5. 発掘調査及び内業整理については下記の方々の参加を得た。（敬称略）
片山須香子・喜多順子・木村友晃・杉本祐子・川富子・辻宏子・恒石健志・中村幸子・華井京子・花房香・藤原哲（現（財）松江市教育文化振興事業団）・折本裕子・牟田口京子
6. 発掘調査については下記の方々の協力を得た。記して感謝する。（敬称略）
株式会社島田組・写測エンジニアリング株式会社・富士測量株式会社
7. 写真撮影は中西が行った。
8. 本調査の記録はスライドフィルムなどでも保管されており、広く一般の方々に活用されることを望むものである。

凡　　例

1. 本書に記載されている標高はT Pを基準としている。
2. 土色は『新版標準土色帖』による。
3. 平面測量は国土座標第VI系による5 mメッシュを基準に実施した。
4. 図中の北は座標北である。
5. 本書の遺構名は下記の略記号を用いた。
SD…溝　SE…井戸　SG…耕作地　SK…土坑　SP…ピット
SU…集石　NR…自然流路
6. 遺構実測図の縮尺は1/60・1/80・1/100である。
7. 遺物実測図の縮尺は土器1/4、金属製品1/2とした。
8. 遺物番号と写真図版の番号は一致する。

目 次

序文

例言

凡例

目次

挿図目次

表目次

図版目次

付図目次

第1章はじめに	1
第1節 位置と環境	1
第2節 調査に至る経過	1
第2章調査の結果	5
第1節 第1調査区	5
第2節 第2調査区	14
第3節 第3調査区	30
第4節 第4調査区	46
第5節 第5調査区	54
第6節 まとめ	74

挿 図 目 次

第1図 河内長野市遺跡分布図 (1/40000)	2
第2図 調査区位置図 (1/5000)	4
第3図 第1調査区上層断面実測図 (1/60)	5
第4図 S K 1～32配置模式図	6
第5図 S P 1～33配置模式図	10
第6図 第2調査区土層断面実測図 (1/60)	14
第7図 S E 1出土遺物実測図	15
第8図 S E 1遺構実測図 (1/60)	15
第9図 S K33～82配置模式図	16
第10図 S P34～102配置模式図	22

第11図	第2調査区包含層出土遺物実測図	29
第12図	第3調査区土層断面実測図(1/60)	30
第13図	S B 1 遺構実測図(1/60)	31
第14図	S G 1 遺構実測図(1/80)	32
第15図	S K83~140配置模式図	33
第16図	S K101出土遺物実測図	35
第17図	S P103~154配置模式図	40
第18図	第4調査区土層断面実測図(1/60)	46
第19図	S K141~176配置模式図	47
第20図	S P155~168配置模式図	52
第21図	第5調査区土層断面実測図(1/60)	55
第22図	S K177~272配置模式図	56
第23図	S P169~222配置模式図	68

表 目 次

第1表	河内長野市遺跡地名表	3
-----	------------	---

図 版 目 次

図版1	第1調査区 調査区全景(西から、東から)
図版2	第2調査区 調査区全景(西から)、S E 1(東から)
図版3	第3調査区 調査区全景(上から、北から)
図版4	第3調査区 S B 1(北から)、S G 1(北から)
図版5	第4調査区 調査区全景(上から、南から)
図版6	第5調査区 調査区全景(上から、南から)
図版7	第5調査区 調査区全景(東から)
出土遺物	S E 1(1)、S K101(3)、第2調査区包含層(2)

付 図 目 次

付図1	第1~5調査区全体図(1/100)
-----	-------------------

第1章 はじめに

第1節 位置と環境

塩谷遺跡は、河内長野市木戸町、木戸東町、市町に広がる旧石器時代から近世にかけての複合遺跡である。遺跡は住宅開発に伴い発見され、昭和46年度に河内長野市教育委員会が塩谷川埋立工事に伴い発掘調査を実施した。調査の結果、明確な遺構は検出されなかつたものの、谷への崩落土中の包含層から石器と弥生時代中期の畿内第III様式から同第IV様式の土器が出土した。石器の中には旧石器時代の石核とみられるものや縄文時代の楔形石器、スクレイバーや剝片が含まれていた。^(註1)

その後の塩谷遺跡の調査は、個人住宅を中心とした小範囲の調査がほとんどで、中世や近世の遺構・遺物が若干検出されたが、中世及び近世の塩谷遺跡を復元する材料としては資料不足であった。

地理的環境としては、近世に新田開発が行われているので詳細な旧地形は不明であるが、小山丘陵の先端部付近に位置するものと見られる。

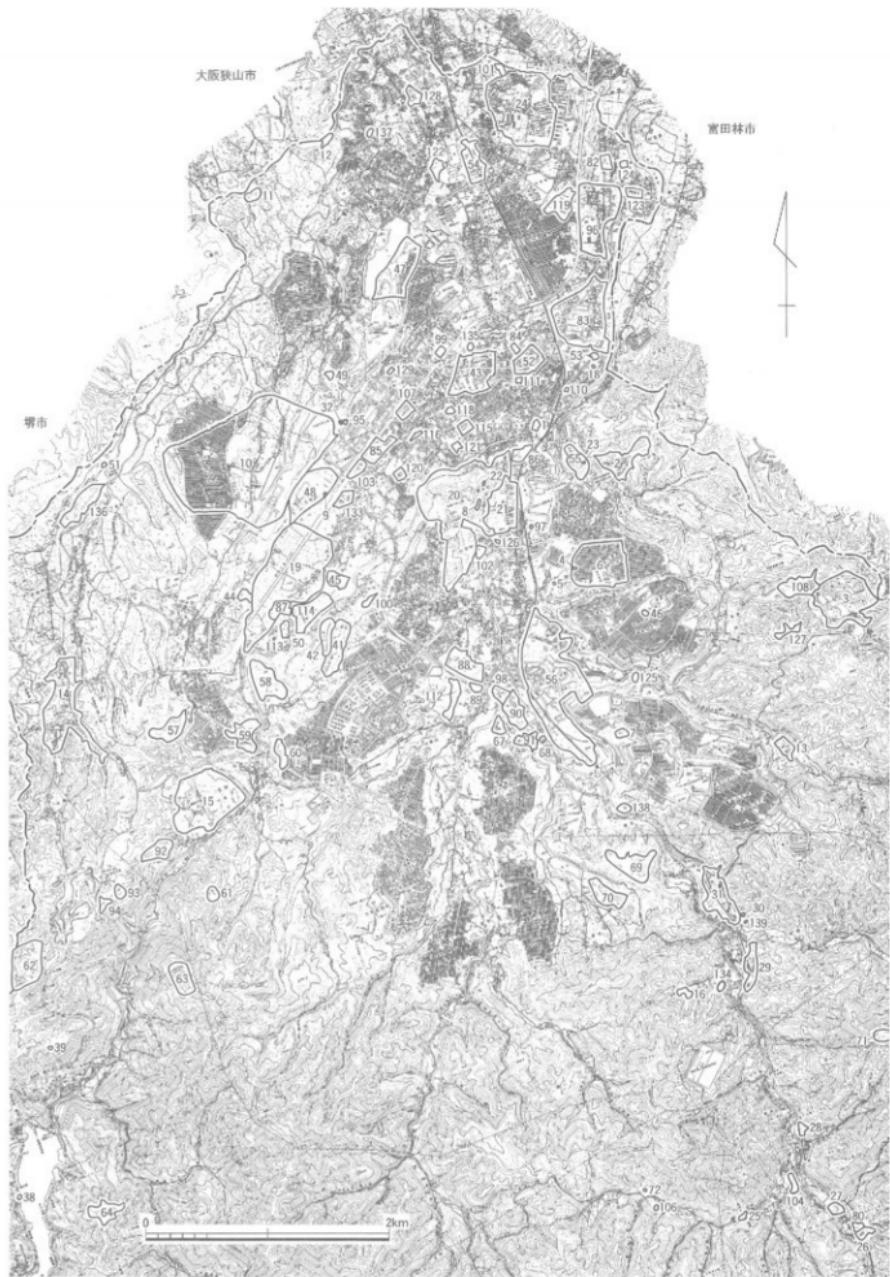
歴史的環境としては、遺跡の北西に近接して中世の散布地である鳴尾遺跡が位置する。南東0.4kmには近世の寺社遺跡の千代田神社遺跡、同0.6kmには中世の散布地の汐の宮町遺跡、同0.7kmには弥生時代から中世にかけての散布地の汐の宮町南遺跡、同0.4kmには弥生時代の散布地で中世の集落の市町西遺跡、同0.6kmには弥生時代の散布地である市町東遺跡、同1.1kmには縄文時代の散布地で中世の集落である向野遺跡が位置し、これらは石川流域を中心基盤として営まれた遺跡である。

南西0.2kmには縄文時代の散布地で近世の寺院跡である菱子尻遺跡、同0.5kmには縄文時代の散布地である楠町東遺跡が位置する。

西0.5kmにはサヌカイトの散布地で、近世の寺社遺跡である松林寺遺跡が位置している。

第2節 調査に至る経過

平成8年3月26日、国立大阪南病院(以下、「病院」という。)から病院構内で今後予定している病院の増改築の際、どのような埋蔵文化財の取り扱いに伴う手続き及び調査が必要か事前照会があった。この照会を受け、河内長野市教育委員会(以下、「市教委」という。)は病院構内のすべてが文化財保護法に定める周知の埋蔵文化財包蔵地の「塩谷遺跡」に該当するため、建設計画が具体化した段階で同法第57条の3の発掘の通知を市教委を窓



第1図 河内長野市遺跡分布図 (1/40000)

番号	文化財名跡	種類	時代	番号	文化財名跡	種類	時代
1	長野神社遺跡	社寺	室町以降	71	諏訪城跡	城館	中世
2	河合中道跡	社寺	平安以降	72	鳥城第16塙塚	経塚	平安以降
3	親心寺遺跡	社寺	平安以降	(73)	鳥城第18塙塚	経塚	平安以降
4	大崩山古墳	古墳	古墳(前期)	(74)	鳥城第19塙塚	経塚	平安以降
5	大崩山南古墳	古墳	古墳(後期)	(75)	篠尾城跡	城館	中世
6	大崩山遺跡	集落・生産	弥生(後期)・平安	(76)	大沢草	城館	中世
7	奥津寺遺跡	社寺	中世以降	(77)	三國山城跡	城館	平安以降
8	島帽子形八幡神社遺跡	社寺	室町以降	(78)	糸庵寺遺跡	社寺	中世以降
9	坂穴古墳	古墳・墳墓	古墳(後期)・近世	(79)	諫子城跡	城館	中世
10	長瀬森遺跡	生産	平安～近世	80	蟹井瀬神社遺跡	社寺	中世以降
11	小山田1号古墳	墳墓	奈良	(81)	川上神社遺跡	社寺	中世以降
12	小山田2号古墳	墳墓	奈良	82	千代田神社遺跡	社寺	中世以降
13	延命寺遺跡	社寺	平安以降	83	向野遺跡	集落・生産	鶴文・平安～近世
14	天野山寺遺跡	社寺・墳墓	平安以降	84	古勞町遺跡	散布地	中世
15	日野觀音寺遺跡	社寺・生産	平安～中世	85	上原北遺跡	集落	中世
16	東成寺遺跡	社寺	中世以降	86	大日寺遺跡	社寺・古墳・墳墓	弥生～中世
17	岩寺寺遺跡	社寺	平安以降	87	高向南遺跡	散布地	鶴文
18	瓦ノ木古墳	古墳	古墳(後期)	88	小堀遺跡	集落	鶴文・奈良
19	古向遺跡	集落	旧石器～中世	89	加瀬遺跡	集落	古墳(後期)
20	高麗子形古墳	城壁・生産	中世～近世	90	原塚遺跡	集落	古墳～中世
21	高多町古墳	集落	鶴文・古墳～中世	91	ジョウノマ遺跡	城跡?	中世
22	鳥櫻子形古墳	古墳	古墳(後期)	92	仁玉山城跡	城館	中世
23	末広窯跡	生産	中世	93	タコラ城跡	城館	中世
24	塙谷遺跡	散布地	鶴文～近世	94	岩立城跡	城館	中世
25	波谷八幡神社	社寺	平安以降	95	ト原近石瓦窯	生産	近世
26	蟹井西南遺跡	散布地	中世	96	市町東遺跡	散布地	弥生・中世
27	蟹井北遺跡	散布地	中世	97	上田町窯跡	生産	近世
28	天見堅北方遺跡	散布地	中世	98	尾崎北遺跡	集落	古墳～中世
29	千早日駒南遺跡	社寺	中世	99	西之山町遺跡	散布地	中世
30	岩瀬春雷山遺跡	社寺	中世以降	100	野間里遺跡	集落	平安
31	清水遺跡	散布地	中世	101	鳴尾遺跡	散布地	中世
32	伝「仲見世」古墳	古墳?		102	上田町遺跡	散布地	古墳・中世
(33)	雲村鬼波堂跡	社寺	近世	103	上原中道跡	散布地	古墳・中世
(34)	瀧畑	墓葬	近世	104	小野寒遺跡	墳墓	中世
(35)	中村阿弥陀堂跡	社寺	近世	(105)	鳥城第17塙塚	経塚	平安以降
(36)	東の村觀音堂跡	社寺	近世	106	東岡堂跡	社寺	中世以降
(37)	西の村觀音堂跡	社寺	近世	107	野作遺跡	生産	中世
38	清水阿弥陀堂跡	社寺	近世	108	守心遺跡	集落・社寺	奈良・中世
39	鹿尻阿彌陀堂跡	社寺	近世	(109)	徳原原遺跡	散布地	中世
(40)	宮の下内塙跡	墳墓	古墳	110	法師坂古墳跡	古墳	古墳
41	宮山古墳	古墳	古墳	111	山上藤山古墳跡	古墳	古墳
42	宮山遺跡	集落	鶴文・奈良	112	西浦遺跡	集落	古墳・中世・近世
43	西代寺跡	遺跡	飛鳥～奈良・江戸	113	地場寺遺跡	社寺	近世
44	上栗町墓地	墳墓	近世	114	宮の下遺跡	集落	平安～中世
45	憩待寺跡	散布地・社寺	鶴文・奈良・鎌倉	115	栄町遺跡	散布地	弥生・古墳・中世
46	栗山遺跡	散布地	中世～近世	116	神町遺跡	散布地	中世
47	守ヶ瀬遺跡	散布地	鶴文	(117)	木井遺跡	散布地	鶴文・中世
48	上原遺跡	散布地	旧石器～近世	118	磯町北遺跡	集落	弥生・中世・近世
49	佐久神社遺跡	社寺	近世以降	119	市町東遺跡	集落	鶴文・中世
50	高向神社遺跡	社寺	中世以降	120	栄町南遺跡	集落	中世
51	宵が原神社遺跡	社寺	中世以降	121	栄町東遺跡	散布地	弥生・中世
52	勝所藩代官所跡	城館	江戸	122	袖町東遺跡	散布地	弥生・奈良
53	坂子原古墳跡	古墳	古墳	123	沙の宮町南遺跡	散布地	弥生・奈良
54	坂子原古墳跡	散佈地	鶴文～近世	124	沙の宮町東遺跡	散布地	中世
55	河舟寺跡	社寺	中世	125	神月川武世墓	墳墓	近世
56	三日市遺跡	集落・古墳群	旧石器～近世	126	増福寺跡	寺社	中世以降
57	日の谷城跡	城壁	中世	127	三昧城遺跡	墳墓・城跡	中世・近世
58	高木遺跡	散布地	鶴文	128	松林寺遺跡	社寺	近世以降
59	沙の山城跡	城壁	中世	129	昭和町遺跡	散布地	中世
60	峰山城跡	城壁	中世	"130	東高野街道	街道	平安以降
61	御荷山城跡	城館	中世	"131	西高野街道	街道	平安以降
62	園見城跡	城壁	中世	"132	森野街	街道	平安以降
63	寶藏城跡	城館	中世	133	上栗東遺跡	散布地	弥生・中世・近世
64	帷覗城跡	城壁	中世	134	地蔵寺東万塙塚	墳墓	鎌倉
(65)	天神社遺跡	社寺	中世以降	135	本多町北遺跡	散布地	中世
(66)	葛城第15塙塚	経塚	平安以降	136	下里町遺跡	散布地	古墳・中世
67	加賀田神社遺跡	社寺	山根山	137	あかし白島遺跡	散布地	近世
68	庚申堂東遺跡	社寺	近世以降	138	岩瀬北遺跡	集落	中世
69	石仏城跡	城館	中世	139	別原近重墓地	墳墓	近世
70	佐丘城跡	城館	中世				

() は地図範囲外 * は街道につき地図上にプロットせず

第1表 河内長野市遺跡地名表



第2図 調査区位置図 (1/5000)

口に、大阪府教育委員会(以下、「府教委」という。)経由、文化庁宛に提出するよう回答した。

平成11年9月6日、平成7年度の協議を受け、病院建設の計画が具体化したため病院と市教委との間で手続きと調査について確認のための再度協議を行った。協議の結果、病院の建設予定箇所において確認調査を実施し、発掘調査を必要とする箇所を確定することになった。

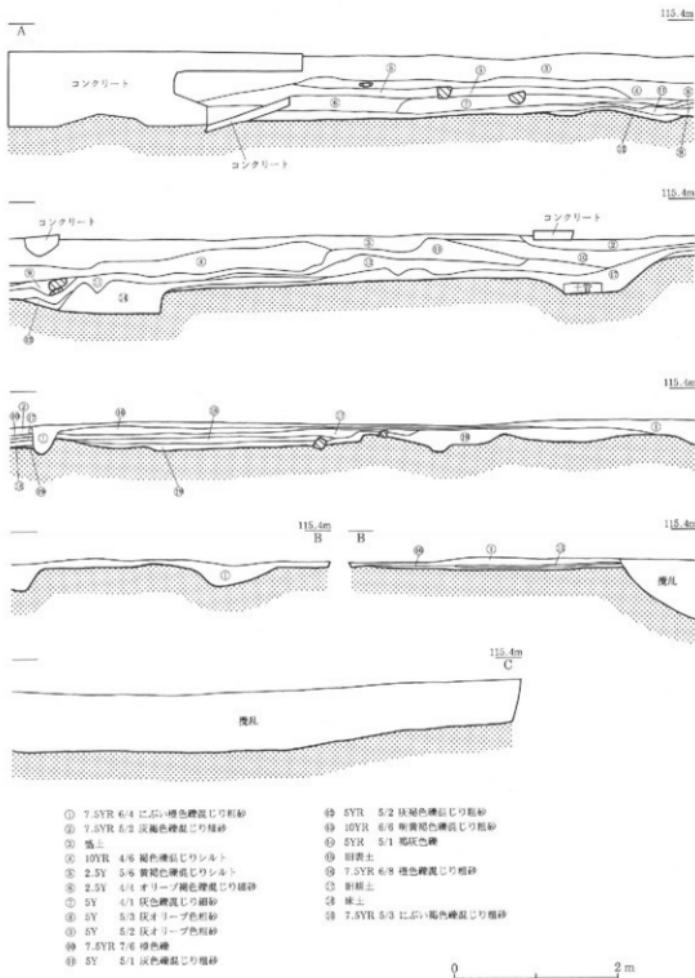
平成11年9月17日、病院から市教委宛に埋蔵文化財発掘調査依頼書が提出され、これを受け市教委は発掘調査を実施した。その結果、既存建物の南側に位置する東側の駐車場と臨床検査士学校付近において遺構を検出し、これらの部分について建設予定の構造物を建設する場合は発掘調査が必要である旨を回答した。また、本調査及び整理事業についても河内長野市遺跡調査会(以下、「調査会」という。)に委託するよう指導した。

平成11年10月14日、発掘調査にかかる協議が整い、調査にかかる契約を国立大阪南病院整備工事(建築)竹中、大末、日東特定建設工事共同企業体代表者(株)竹中工務店大阪本店と締結し、平成11年10月15日から平成12年3月10日まで事業を実施した。

(註1) 『河内長野市史 第一巻(上) 本文編 考古』 1994年3月 河内長野市役所

第2章 調査の結果

第1節 第1調査区



第3図 第1調査区土層断面実測図 (1/60)

第1調査区は看護学校の南側に位置する。遺構はかなり擾乱を受けていたものの、土坑32基、ピット33基、集石遺構1基を検出した。遺物は包含層から堺擂鉢が出土したが、遺構からは出土しなかった。

基本層序は盛土、旧耕土、床土、7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。地山は10YR5/6黄褐色疊混じりシルトであった。(付図1、図版1)

(1) 土坑(第4図、図版1)

[SK1]

SK1は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.54m、短軸0.23m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[SK2]

SK2は第1調査区の東側に位置する。遺構の大半が調査区外、あるいは擾乱を受けているため平面形は不明である。遺構の規模は換出長0.45m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[SK3]

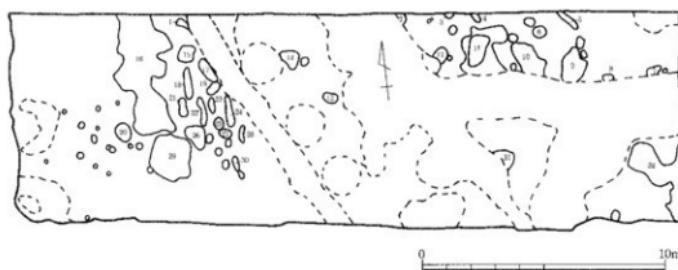
SK3は第1調査区の東側に位置する。遺構の北側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。換出した遺構の規模は長軸0.36m、短軸0.21m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[SK4]

SK4は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.41m、短軸0.22m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[SK5]

SK5は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.04m、短軸0.19m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり



第4図 SK1～32配置模式図

細砂であった。

〔S K 6〕

S K 6は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.52m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K 7〕

S K 7は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.62m、短軸0.37m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K 8〕

S K 8は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.38m、短軸0.28m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K 9〕

S K 9は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.46m、短軸0.96m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K 10〕

S K 10は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.94m、短軸0.88m、深さ0.21mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K 11〕

S K 11は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.38m、短軸0.76m、深さ0.22mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K 12〕

S K 12は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.58m、短軸0.52m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K 13〕

S K 13は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長軸0.62m、短軸0.4m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K 14〕

S K 14は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.84m、短軸0.64m、深さ0.18mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトで

あった。

[S K15]

S K15は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.78m、短軸0.68m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K16]

S K16は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸5.02m、短軸2.28m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K17]

S K17は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.12m、短軸0.42m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K18]

S K18は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.32m、短軸0.34m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K19]

S K19は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.6m、短軸0.36m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K20]

S K20は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.86m、短軸0.7m、深さ0.22mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K21]

S K21は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.8m、短軸0.32m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K22]

S K22は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.24m、短軸0.32m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K23]

S K23は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長

軸0.7m、短軸0.26m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K24〕

S K24は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.42m、短軸0.36m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K25〕

S K25は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長軸0.58m、短軸0.46m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

〔S K26〕

S K26は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.1m、短軸0.78m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K27〕

S K27は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長軸0.52m、短軸0.32m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K28〕

S K28は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.8m、短軸0.18m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K29〕

S K29は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.95m、短軸1.62m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K30〕

S K30は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.64m、短軸0.24m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K31〕

S K31は第1調査区の東側に位置する。遺構の西側が攪乱を受けているため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.88m、短軸0.55m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K32]

S K32は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸3.26m、短軸0.72m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

(2) ピット(第5図、図版1)

[S P 1]

S P 1は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.1m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 2]

S P 2は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.17m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 3]

S P 3は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.44m、短径0.3m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 4]

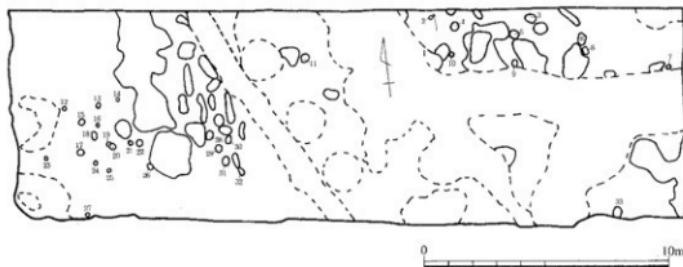
S P 4は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.3m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 5]

S P 5は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.34m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 6]

S P 6は第1調査区の東側に位置する。平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.3m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。



第5図 S P 1～33配置模式図

[S P 7]

S P 7は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.18m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 8]

S P 8は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は径0.32m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 9]

S P 9は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は楕円形である。遺構の規模は長径0.28m、短径0.24m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 10]

S P 10は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.2m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 11]

S P 11は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は楕円形である。遺構の規模は長径0.3m、短径0.21m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 12]

S P 12は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.2m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 13]

S P 13は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は楕円形である。遺構の規模は長径0.26m、短径0.2m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 14]

S P 14は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.18m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 15]

S P 15は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.3m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 16]

S P 16は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.2m、短径0.16m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P17〕

S P17は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.26m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P18〕

S P18は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径0.36m、短径0.26m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P19〕

S P19は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.25m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P20〕

S P20は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.25m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P21〕

S P21は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.2m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P22〕

S P22は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.3m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P23〕

S P23は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.15m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P24〕

S P24は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.2m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P25〕

S P25は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.16m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P26〕

S P26は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.24m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P27〕

S P27は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.16m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P28]

S P28は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.36m、短径0.26m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P29]

S P29は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.31m、短径0.26m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P30]

S P30は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.37m、短径0.28m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P31]

S P31は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.37m、短径0.32m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P32]

S P32は第1調査区の西側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.19m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P33]

S P33は第1調査区の東側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.34m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

(3) 集石遺構(付図1、図版1)

[S U1]

S U1は第1調査区の東側に位置する。遺構の西部が擾乱を受けているため平面形は不明である。遺構の規模は長径0.94m、短径0.6m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

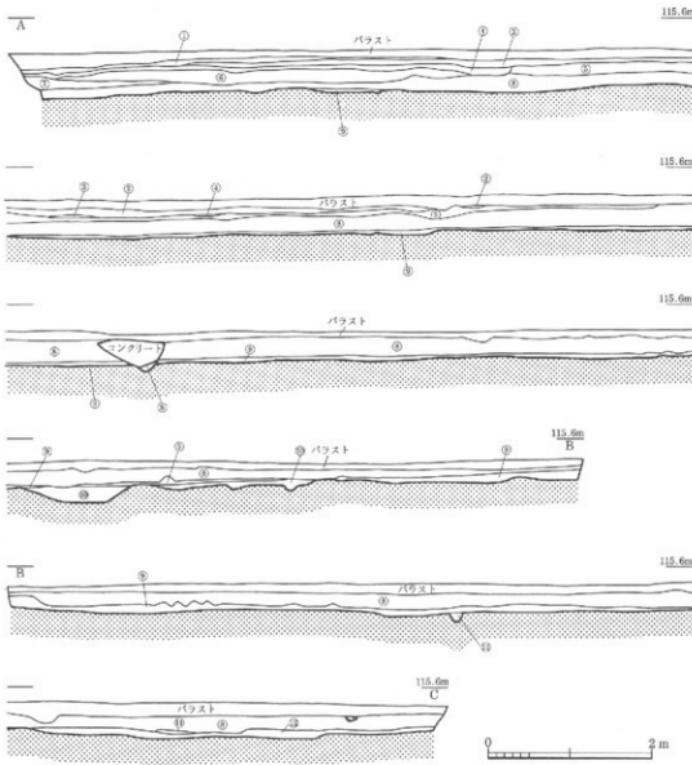
(4) 包含層

包含層から出土した遺物は堺播鉢があったが、細片のため図化出来なかった。

第2節 第2調査区

第2調査区は第1調査区の南に位置する。遺構は溝2条、井戸1基、土坑50基、ピット69基、自然流路1ヶ所を検出した。遺物は包含層とSD1、SE1、NR1において確認された。

基本層序は盛土、10YR5/6黄褐色疊、10YR4/3にぶい黄褐色疊混じりシルトであった。地山は10YR5/6黄褐色疊混じりシルトであった。(付図1、図版2)



- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ① 5Y 7/3 深黄色疊(盛土) | ⑦ 10YR 5/3 にぶい黄褐色疊混じり細砂 |
| ② 10YR 4/4 黄色シルト混じり疊(盛土) | ⑧ 10YR 5/6 黄褐色疊 |
| ③ 10YR 4/2 深黄色疊 | ⑨ 10YR 4/3 にぶい黄褐色疊混じりシルト |
| ④ 10YR 4/6 黄色疊混じり疊(盛土) | ⑩ 10YR 4/4 黄褐色疊混じりシルト |
| ⑤ 10YR 5/4 にぶい黄褐色疊混じり細砂 | ⑪ 7.5YR 4/6 黄褐色シルト |
| ⑥ 10YR 6/6 明黄色疊(盛土) | ⑫ 7.5YR 4/4 黄褐色疊混じりシルト |

第6図 第2調査区土層断面実測図 (1/60)

(1) 溝(付図1、図版2)

[SD1]

S D 1は第2調査区の北側に位置する。遺構の規模は検出長9.85m、検出幅0.54m、深さ0.05~0.08mを測る。遺構内にはこぶし大の川原石が詰められている。遺構の軸方向はN-39°-Eであった。遺構の埋土は10YR4/3にぶい黄褐色疊混じりシルトであった。

遺物は上師質土器、肥前系陶器、伊万里碗が出土したが、細片のため図化できなかった。

[SD2]

S D 2は第2調査区の中央部に位置する。遺構の規模は検出長2.66m、検出幅2.14m、深さ0.11~0.24mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。



(2) 井戸(第7・8図、図版2・7)

[SE1]

S E 1は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径1.24m、短径1.06m、深さ2.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

遺物は肥前系陶器嬉野焼の皿(1)、平瓦が出土したが、平瓦は細片のため図化できなかった。



第7図 S E 1
出土遺物実測図



第8図 S E 1 遺
構実測図 (1/60)

(3) 土坑(第9図、図版2)

[SK33]

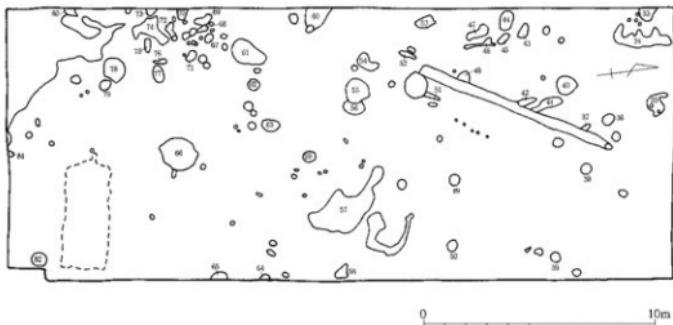
S K33は第2調査区の北側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。遺構の検出した規模は長軸0.83m、短軸0.66m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[SK34]

S K34は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.63m、短軸0.92m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[SK35]

S K35は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.2m、短軸0.86m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。



第9図 S K 33~82配置模式図

[S K36]

S K36は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.62m、短軸0.44m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K37]

S K37は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.42m、短軸0.28m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K38]

S K38は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.52m、短径0.48m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K39]

S K39は、第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.5m、短径0.48m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K40]

S K40は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.98m、短軸0.84m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K41]

S K41は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.48m、短軸0.4m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K42]

S K42は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.9m、短軸0.39m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K43]

S K43は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.72m、短軸0.43m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K44]

S K44は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.94m、短軸0.62m、深さ0.18mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K45]

S K45は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.66m、短軸0.32m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K46]

S K46は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.48m、短軸0.36m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K47]

S K47は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.16m、短軸0.52m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K48]

S K48は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.6m、短軸0.5m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K49]

S K49は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.52m、短径0.5m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K50]

S K50は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.5m、短径0.48m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂で

あった。

〔S K51〕

S K51は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.8m、短軸0.2m、深さ0.01mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K52〕

S K52は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.86m、短軸0.26m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K53〕

S K53は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.0m、短軸0.56m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K54〕

S K54は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.06m、短軸0.52m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K55〕

S K55は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.18m、短軸1.0m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K56〕

S K56は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.02m、短軸0.52m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K57〕

S K57は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸4.3m、短軸1.86m、深さ0.5mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K58〕

S K58は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.82m、短軸0.54m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K59〕

S K59は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長

径0.58m、短径0.52m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K60〕

S K60は第2調査区の中央部に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸1.04m、短軸1.02m、深さ0.32mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K61〕

S K61は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.72m、短軸1.08m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K62〕

S K62は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.58m、短径0.54m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K63〕

S K63は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.86m、短軸0.6m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K64〕

S K64は第2調査区の中央部に位置する。遺構の東側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.58m、短軸0.26m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K65〕

S K65は第2調査区の中央部に位置する。遺構の東側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.75m、短軸0.36m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K66〕

S K66は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.82m、短軸1.48m、深さ0.2mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K67〕

S K67は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.5m、短軸0.37m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K68]

S K68は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.56m、短軸0.3m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K69]

S K69は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.9m、短軸0.36m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K70]

S K70は第2調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.5m、短軸0.5m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K71]

S K71は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.58m、短軸0.36m、深さ0.24mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K72]

S K72は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.9m、短軸0.38m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K73]

S K73は第2調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.5m、短軸0.38m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K74]

S K74は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.86m、短軸1.0m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K75]

S K75は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.64m、短軸0.28m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K76]

S K76は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.64m、短軸0.2m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトで

あった。

〔S K77〕

S K77は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長軸0.78m、短軸0.5m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K78〕

S K78は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.24m、短軸1.04m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K79〕

S K79は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.58m、短軸0.48m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K80〕

S K80は第2調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.5m、短軸0.36m、深さ0.38mを測る。遺構の埋土は10YR5/4にぶい黄褐色疊混じり細砂であった。

〔S K81〕

S K81は第2調査区の南側に位置する。遺構の南側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.3m、短軸0.26m、深さ0.27mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K82〕

S K82は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長軸0.7m、短軸0.66m、深さ0.17mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

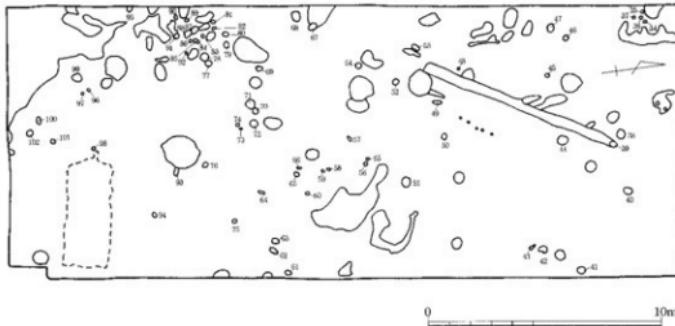
(4) ピット(第10図、図版2)

〔S P34〕

S P34は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.16m、短径0.14m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P35〕

S P35は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.16m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。



第10図 S P 34~102配置模式図

[S P 36]

S P 36は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.14m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 37]

S P 37は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.16m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 38]

S P 38は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.44m、短径0.4m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 39]

S P 39は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.36m、短径0.28m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P 40]

S P 40は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.32m、深さ0.23mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 41]

S P 41は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.42m、短径0.28m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 42]

S P 42は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長

径0.42m、短径0.3m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P43〕

S P43は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.36m、短径0.14m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P44〕

S P44は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.52m、短径0.44m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

〔S P45〕

S P45は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.2m、短径0.14m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P46〕

S P46は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.26m、短径0.24m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

〔S P47〕

S P47は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.44m、短径0.34m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

〔S P48〕

S P48は第2調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.14m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

〔S P49〕

S P49は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.42m、短径0.2m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

〔S P50〕

S P50は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.23m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P51〕

S P51は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.48m、短径0.42m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトで

あった。

[S P52]

S P52は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.32m、短径0.3m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P53]

S P53は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.42m、短径0.24m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P54]

S P54は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.3m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P55]

S P55は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.16m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P56]

S P56は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.2m、短径0.16m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P57]

S P57は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.24m、短径0.12m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P58]

S P58は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.18m、短径0.1m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P59]

S P59は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.2m、短径0.18m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P60]

S P60は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.22m、短径0.14m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P61〕

S P61は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.26m、短径0.2m、深さ0.18mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P62〕

S P62は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.42m、短径0.22m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P63〕

S P63は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.32m、短径0.26m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P64〕

S P64は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.36m、短径0.12m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P65〕

S P65は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.33m、短径0.2m、深さ0.31mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P66〕

S P66は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.2m、短径0.14m、深さ0.27mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P67〕

S P67は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.36m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P68〕

S P68は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.46m、短径0.38m、深さ0.27mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P69〕

S P69は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.28m、短径0.22m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルト

であった。

[S P70]

S P70は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.3m、短径0.28m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P71]

S P71は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.5m、短径0.42m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P72]

S P72は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.38m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P73]

S P73は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.12m、短径0.07m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P74]

S P74は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.16m、短径0.14m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P75]

S P75は第2調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.22m、短径0.2m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P76]

S P76は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.28m、短径0.2m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P77]

S P77は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.34m、短径0.32m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P78]

S P78は第2調査区の南側に位置する。平面形は円形である。遺構の規模は長径0.42m、短径0.4m、深さ0.19mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P79]

S P79は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径0.32m、短径0.26m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P80]

S P80は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径0.26m、短径0.18m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P81]

S P81は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.22m、短径0.2m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P82]

S P82は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径0.22m、短径0.1m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P83]

S P83は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.16m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P84]

S P84は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.15m、短径0.14m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P85]

S P85は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.16m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P86]

S P86は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.14m、短径0.12m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P87]

S P87は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径0.36m、短径0.26m、深さ0.37mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P88]

S P88は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径0.36m、短径0.28m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P89]

S P89は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径0.22m、短径0.14m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P90]

S P90は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径0.24m、短径0.14m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P91]

S P91は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.22m、短径0.18m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P92]

S P92は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は直径0.12m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P93]

S P93は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.22m、深さ0.01mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P94]

S P94は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径0.22m、短径0.16m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P95]

S P95は第2調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長径0.23m、短径0.2m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P96]

S P96は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.18m、短径0.16m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P97]

S P97は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.12m、短径0.1m、深さ0.01mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P98]

S P98は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.2m、短径0.19m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P99]

S P99は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.48m、短径0.38m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P100]

S P100は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.32m、短径0.14m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P101]

S P101は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.2m、短径0.18m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P102]

S P102は第2調査区の南側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.32m、短径0.28m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

(5) 自然流路(付図1、図版2)

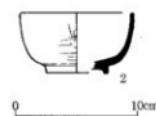
[N R 1]

N R 1は第2調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長軸6.15m、短軸3.55m、深さ0.06~0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

遺物は土師質上器が出土したが、細片のため図化できなかった。

(6) 包含層(第11図、図版7)

包含層から出土した遺物には、土師質土器、陶器、京焼風肥前系陶器(2)、平瓦があったが、(2)以外は細片のため図化できなかった。

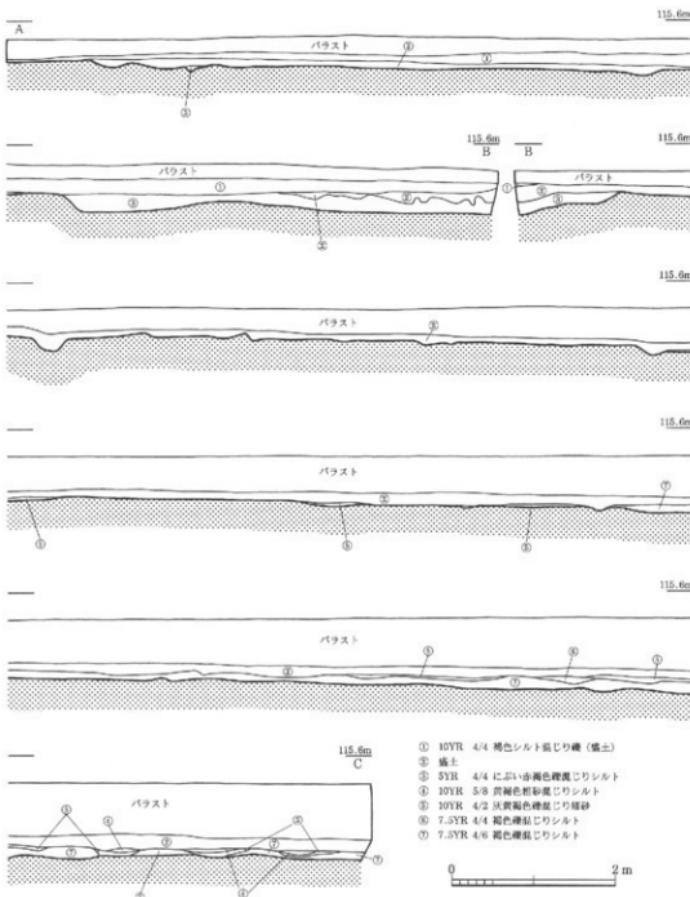


第11図 包含層
出土遺物実測図

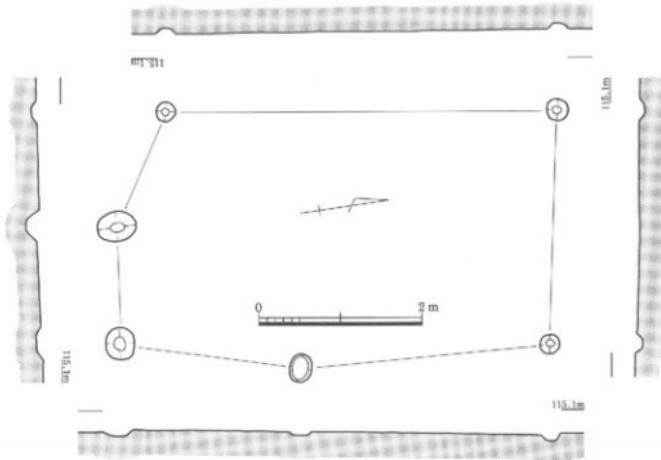
第3節 第3調査区

第3調査区は第2調査区の西に接して位置する。遺構は掘立柱建物1棟、溝3条、土坑58基、ピット52基を検出した。遺物は土坑から用途不明の金属製品が出土した。

基本層序は盛土、10YR4/2灰黄褐色疊混じり細砂、7.5YR4/6褐色疊混じりシルトであった。地山は7.5YR4/6褐色粘土混じり疊であった。(付図1、図版3)



第12図 第3調査区土層断面実測図 (1/60)



第13図 SB 1 遺構実測図 (1/60)

(1) 挖立柱建物(第13図、図版4)

[SB 1]

SB 1は第3調査区の南側に位置する。遺構の規模は桁行2間5.26m、梁行2間2.86mである。柱穴の平面形は円形、椭円形である。柱穴の深さは0.04~0.18mを測る。建物の軸方向はN-8.5°-Eであった。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂と10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

(2) 溝(付図1、図版3)

[SD 3]

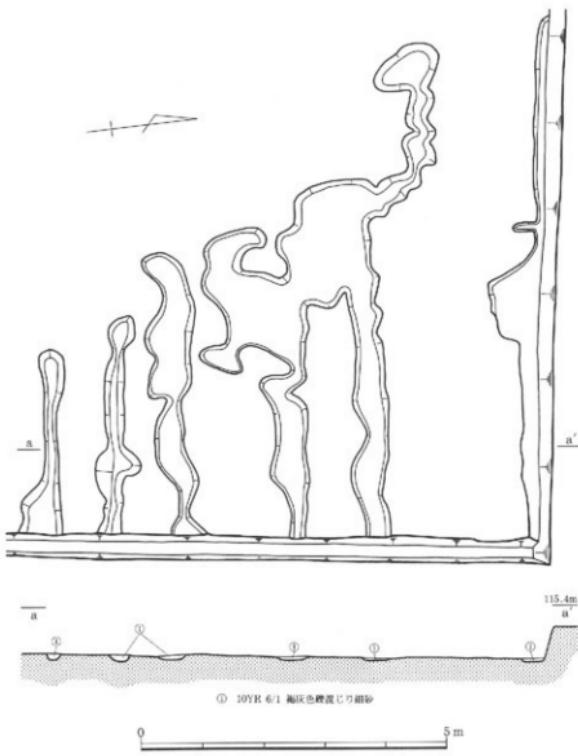
SD 3は第3調査区の中央部に位置する。遺構の規模は検出長2.28m、検出幅0.5m、深さ0.07~0.14mを測る。遺構の軸方向はN-61°-Wであった。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[SD 4]

SD 4は第3調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長3.88m、検出幅0.36m、深さ0.05~0.07mを測る。遺構の軸方向はN-28.5°-Eであった。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[SD 5]

SD 5は第3調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長3.96m、検出幅0.58m、深さ0.05~0.1mを測る。遺構の軸方向はN-8.5°-Eであった。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。



第14図 SG 1 遺構実測図 (1/80)

(3) 耕作地(第14図、図版4)

[SG 1]

S G 1は第3調査区の北側に位置する。遺構の規模は検出長3.04~8.64m、検出幅0.22~0.75m、深さ0.04~0.12mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

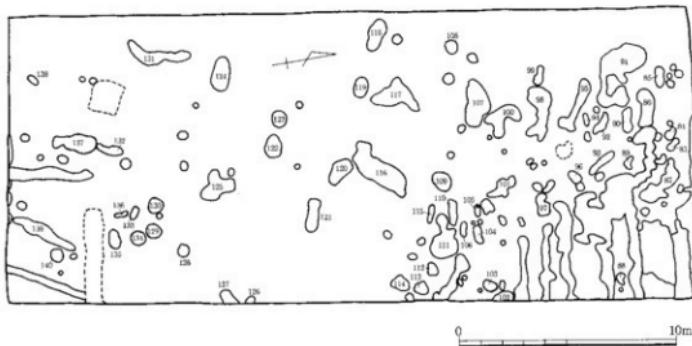
(4) 土坑(第15図、図版3)

[SK 83]

S K83は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.7m、短軸0.34m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

[SK 84]

S K84は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長



第15図 S K 83～140配置模式図

軸0.64m、短軸0.42m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K85〕

S K85は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.96m、短軸0.38m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K86〕

S K86は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.74m、短軸0.72m、深さ0.17mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K87〕

S K87は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.34m、短軸0.7m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K88〕

S K88は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.58m、短軸0.42m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K89〕

S K89は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.62m、短軸0.32m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K90〕

S K90は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長

軸1.18m、短軸0.44m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K91〕

S K91は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸3.28m、短軸1.38m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K92〕

S K92は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.13m、短軸0.4m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K93〕

S K93は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.46m、短軸0.34m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K94〕

S K94は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.58m、短軸0.2m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K95〕

S K95は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.54m、北側短軸0.32m、南側短軸0.54m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K96〕

S K96は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.68m、短軸0.5m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K97〕

S K97は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.03m、短軸0.58m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K98〕

S K98は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.56m、短軸1.09m、深さ0.2mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K99〕

S K99は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.92m、短軸0.42m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K100〕

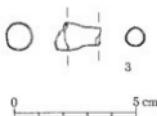
S K100は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.67m、北側短軸0.54m、南側短軸1.24m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K101〕(第16図、図版7)

S K101は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.54m、短軸0.74m、深さ0.1mを測る。

遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

遺物は用途不明の金属製品(3)が出土した。



第16図 S K101
出土遺物実測図

〔S K102〕

S K102は第3調査区の北側に位置する。遺構の東側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.96m、短軸0.46m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K103〕

S K103は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.66m、短軸0.48m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K104〕

S K104は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.86m、短軸0.34m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K105〕

S K105は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.54m、短軸0.2m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K106〕

S K106は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.7m、短軸0.26m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K107〕

S K107は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は

長軸2.26m、短軸1.14m、深さ0.17mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K108〕

S K108は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長軸0.59m、短軸0.55m、深さ0.19mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K109〕

S K109は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.02m、短軸0.76m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K110〕

S K110は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.18m、短軸0.3m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K111〕

S K111は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.1m、短軸1.28m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K112〕

S K112は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.6m、短軸0.44m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K113〕

S K113は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.62m、短軸0.62m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K114〕

S K114は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.76m、短軸0.6m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K115〕

S K115は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.86m、短軸0.24m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K116]

S K116は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸3.32m、短軸1.1m、深さ0.19mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K117]

S K117は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.25m、短軸1.35m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K118]

S K118は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.52m、短軸0.78m、深さ0.3mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K119]

S K119は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.96m、短軸0.64m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K120]

S K120は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.42m、短軸0.76m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K121]

S K121は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.56m、短軸0.58m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K122]

S K122は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸1.08m、短軸0.76m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K123]

S K123は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長軸0.76m、短軸0.66m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K124]

S K124は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸1.4m、短軸0.9m、深さ0.24mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトで

あった。

〔S K125〕

S K125は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.74m、短軸1.16m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K126〕

S K126は第3調査区の南側に位置する。遺構の東側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.44m、短軸0.4m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K127〕

S K127は第3調査区の南側に位置する。遺構の東側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.77m、短軸0.54m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K128〕

S K128は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.56m、短径0.49m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K129〕

S K129は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.68m、短径0.66m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K130〕

S K130は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.7m、短軸0.64m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K131〕

S K131は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.96m、短軸0.62m、深さ0.2mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K132〕

S K132は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.24m、短軸0.44m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K133〕

S K133は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は

長軸0.64m、短軸0.3m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K134〕

S K134は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.7m、短径0.62m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K135〕

S K135は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.9m、短軸0.56m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K136〕

S K136は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.62m、短軸0.2m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K137〕

S K137は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.02m、短軸0.88m、深さ0.18mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K138〕

S K138は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.57m、短軸0.28m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K139〕

S K139は第3調査区の南側に位置する。平面形は不定形である。遺構の規模は長軸3.19m、短軸0.62m、深さ0.07mを測る。埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K140〕

S K140は第3調査区の南側に位置する。平面形は円形である。遺構の規模は長径0.6m、短径0.56m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

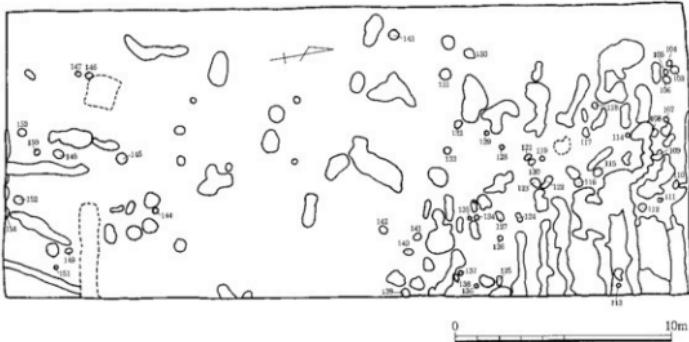
(5) ピット(第17図、図版3)

〔S P103〕

S P103は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.36m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P104〕

S P104は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径



第17図 S P 103~154配置模式図

0.24m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

[S P 105]

S P 105は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.22m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

[S P 106]

S P 106は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.32m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 107]

S P 107は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.22m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

[S P 108]

S P 108は第3調査区の北側に位置する。遺構の南側がS G 1に切られているため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長径0.38m、短径0.27m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

[S P 109]

S P 109は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.54m、短径0.24m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

[S P 110]

S P 110は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は椭円形である。遺構の規模は長径0.28m、短径0.2m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐灰色疊混じり細砂であった。

[S P 111]

S P 111は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径

0.2m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P112〕

S P112は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.36m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P113〕

S P113は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.14m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P114〕

S P114は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.2m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P115〕

S P115は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.42m、短径0.34m、深さ0.25mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P116〕

S P116は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.34m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P117〕

S P117は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.5m、短径0.48m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P118〕

S P118は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.32m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P119〕

S P119は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.2m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P120〕

S P120は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.32m、短径0.24m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P121〕

S P121は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.34m、短径0.24m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルト

であった。

〔S P122〕

S P122は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.7m、短径0.32m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P123〕

S P123は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.44m、短径0.37m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P124〕

S P124は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.44m、短径0.24m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P125〕

S P125は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.46m、短径0.24m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P126〕

S P126は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.2m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P127〕

S P127は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.43m、短径0.28m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P128〕

S P128は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.2m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P129〕

S P129は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.18m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P130〕

S P130は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.51m、短径0.4m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P131]

S P131は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.5m、短径0.48m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P132]

S P132は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.32m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P133]

S P133は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.32m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P134]

S P134は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.22m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P135]

S P135は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.16m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P136]

S P136は第3調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.22m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P137]

S P137は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.22m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P138]

S P138は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.2m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P139]

S P139は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.34m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P140]

S P140は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.31m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P141]

S P141は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.34m、短径0.28m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P142]

S P142は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.42m、短径0.32m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P143]

S P143は第3調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.42m、深さ0.25mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P144]

S P144は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.26m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P145]

S P145は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.42m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P146]

S P146は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.32m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P147]

S P147は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.24m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P148]

S P148は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.46m、短径0.36m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P149]

S P149は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.3m、短径0.22m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P150]

S P150は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.26m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P151]

S P151は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.18m、短径0.16m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P152]

S P152は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.36m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P153]

S P153は第3調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.32m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P154]

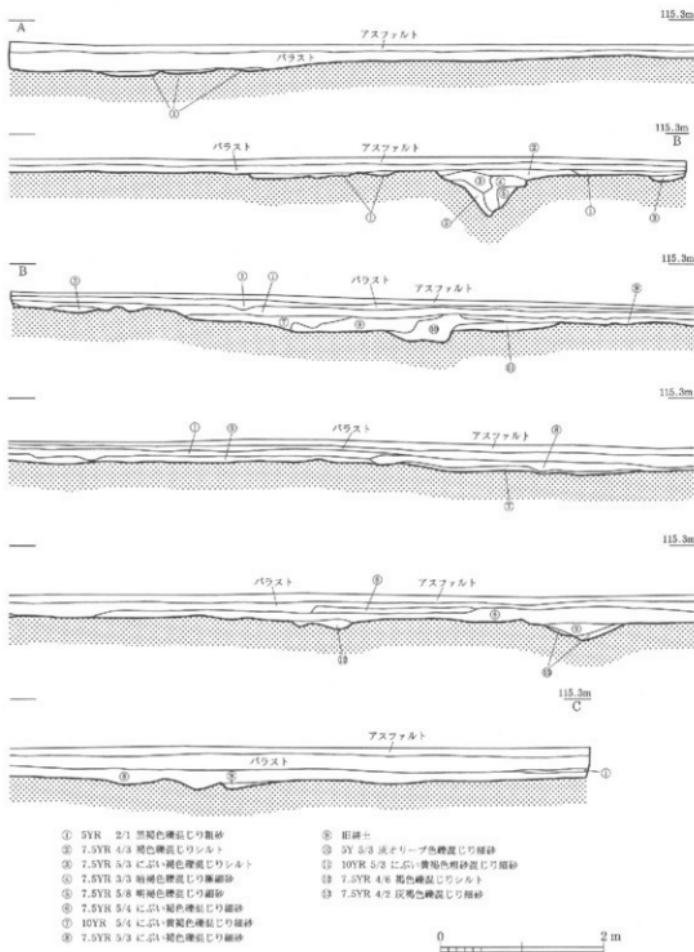
S P154は第3調査区の南側に位置する。遺構の大半が調査区外のため詳細は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.55m、短軸0.12m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

(6) 包含層

包含層から遺物は出土しなかった。

第4節 第4調査区

第4調査区は第3調査区の西に接して位置する。遺構は溝4条、土坑36基、ピット14基を検出した。遺物は出土しなかった。基本層序は盛土、旧耕土であった。地山は7.5YR 4/6褐色粘土混じり礫であった。(付図1、図版5)



第18図 第4調査区土層断面実測図 (1/60)

(1) 溝(付図1、図版5)

[S D 6]

S D 6は第4調査区の中央部に位置し南側にのびる。遺構の規模は検出長20.2m、検出幅0.8m、深さ0.05~0.37mを測る。遺構の軸方向はN-31°-Eであった。遺構の埋土は7YR5/8明褐色疊混じり細砂であった。

[S D 7]

S D 7は第4調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長7.62m、検出幅0.82m、深さ0.06~0.22mを測る。遺構の軸方向はN-35°-Eであった。遺構の埋土は5Y5/3灰才リープ色疊混じり細砂であった。

[S D 8]

S D 8は第4調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長6.94m、検出幅0.54m、深さ0.03~0.11mを測る。遺構の軸方向はN-29°-Eであった。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

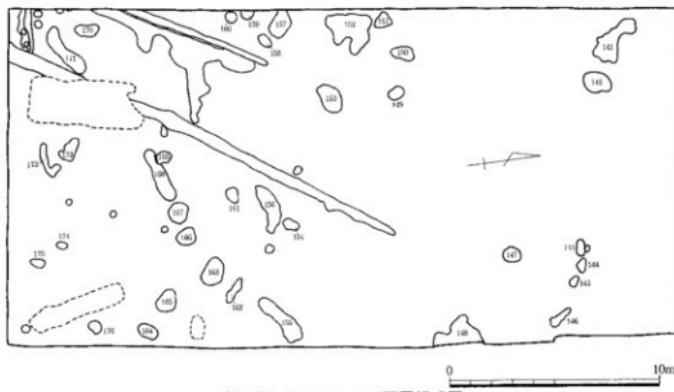
[S D 9]

S D 9は第4調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長2.14m、検出幅0.34m、深さ0.03mを測る。遺構の軸方向はN-85.5°-Wであった。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

(2) 上坑(第19図、図版5)

[S K141]

S K141は第4調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.48m、短軸1.23m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。



第19図 S K141~176配置模式図

〔S K142〕

S K142は第4調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.37m、短軸0.98m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K143〕

S K143は第4調査区の北側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長軸0.74m、短軸0.38m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K144〕

S K144は第4調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.66m、短軸0.42m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K145〕

S K145は第4調査区の北側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長軸0.52m、短軸0.36m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K146〕

S K146は第4調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.18m、短軸0.4m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K147〕

S K147は第4調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.84m、短径0.7m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K148〕

S K148は第4調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.3m、短軸1.3m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K149〕

S K149は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長軸0.72m、短軸0.51m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K150〕

S K150は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.08m、短軸0.62m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルト

トであった。

[S K151]

S K151は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.8m、短軸0.65m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K152]

S K152は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.14m、短軸1.94m、深さ0.23mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K153]

S K153は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.5m、短軸1.0m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K154]

S K154は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.88m、短軸0.2m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K155]

S K155は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.76m、短軸0.86m、深さ0.22mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K156]

S K156は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.38m、短軸0.74m、深さ0.29mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K157]

S K157は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.36m、短軸0.94m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K158]

S K158は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長軸0.72m、短軸0.46m、深さ0.2mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K159]

S K159は第4調査区の中央部に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は

不明である。検出した遺構の規模は長軸0.6m、短軸0.46m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K160〕

S K160は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.54m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K161〕

S K161は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.72m、短軸0.52m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K162〕

S K162は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.34m、短軸0.4m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K163〕

S K163は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸1.36m、短軸0.97m、深さ0.2mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K164〕

S K164は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.98m、短径0.63m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K165〕

S K165は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.18m、短軸0.86m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K166〕

S K166は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.9m、短軸0.76m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K167〕

S K167は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.99m、短軸0.92m、深さ0.21mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K168〕

S K168は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は

長軸2.62m、短軸0.66m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K169〕

S K169は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は楕円形である。遺構の規模は長軸0.7m、短軸0.66m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K170〕

S K170は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.1m、短軸0.56m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K171〕

S K171は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.6m、短軸0.7m、深さ0.28mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K172〕

S K172は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.18m、短軸0.62m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K173〕

S K173は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.66m、短軸0.32m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K174〕

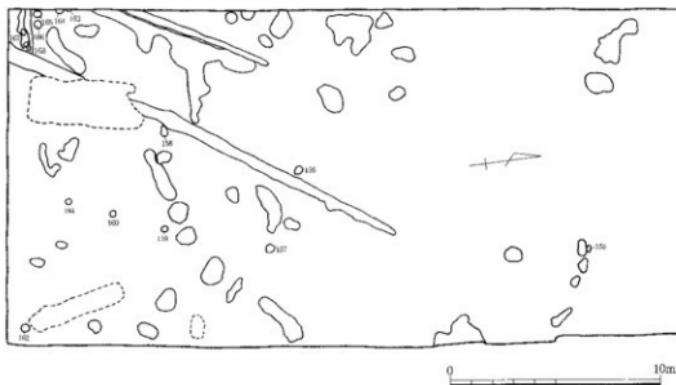
S K174は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は楕円形である。遺構の規模は長軸0.52m、短軸0.3m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K175〕

S K175は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は楕円形である。遺構の規模は長軸0.7m、短軸0.38m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K176〕

S K176は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.62m、短軸0.5m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。



第20図 S P 155~168配置模式図

(3) ピット(第20図、図版5)

[S P 155]

S P 155は第4調査区の北側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.28m、短径0.2m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 156]

S P 156は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.43m、短径0.32m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 157]

S P 157は第4調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.42m、短径0.38m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 158]

S P 158は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.52m、短径0.3m、深さ0.2mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 159]

S P 159は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.3m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P 160]

S P 160は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径

0.29m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P161〕

S P161は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.28m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P162〕

S P162は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.38m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P163〕

S P163は第4調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長径0.24m、短径0.1m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P164〕

S P164は第4調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長径0.36m、短径0.19m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P165〕

S P165は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.36m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P166〕

S P166は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.36m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P167〕

S P167は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.28m、短径0.22m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P168〕

S P168は第4調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.24m、短径0.2m、深さ0.02mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

(4) 包含層

包含層から遺物は出土しなかった。

第5節 第5調査区

第5調査区は第4調査区の西に接して位置する。遺構は溝6条、土坑96基、ピット54基を検出した。遺物は出土しなかった。

基本層序は盛土、旧耕土、床上、2.5Y4/3オリーブ褐色疊混じり細砂であった。地山は7.5YR5/8明褐色疊混じりシルトであった。(付図1、図版6)

(1) 溝(付図1、図版6)

[S D10]

S D10は第5調査区の北側に位置する。遺構の規模は検出長9.84m、検出幅0.99~1.46m、深さ0.07~0.33mを測る。遺構の軸方向はN-64°-W、N-9.5°-Eであった。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S D11]

S D11は第5調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長4.48m、検出幅0.32m、深さ0.07~0.16mを測る。遺構の軸方向はN-30.5°-Eであった。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S D12]

S D12は第5調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長1.31m、検出幅0.62m、深さ0.02~0.07mを測る。遺構の軸方向はN-27.5°-Eであった。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S D13]

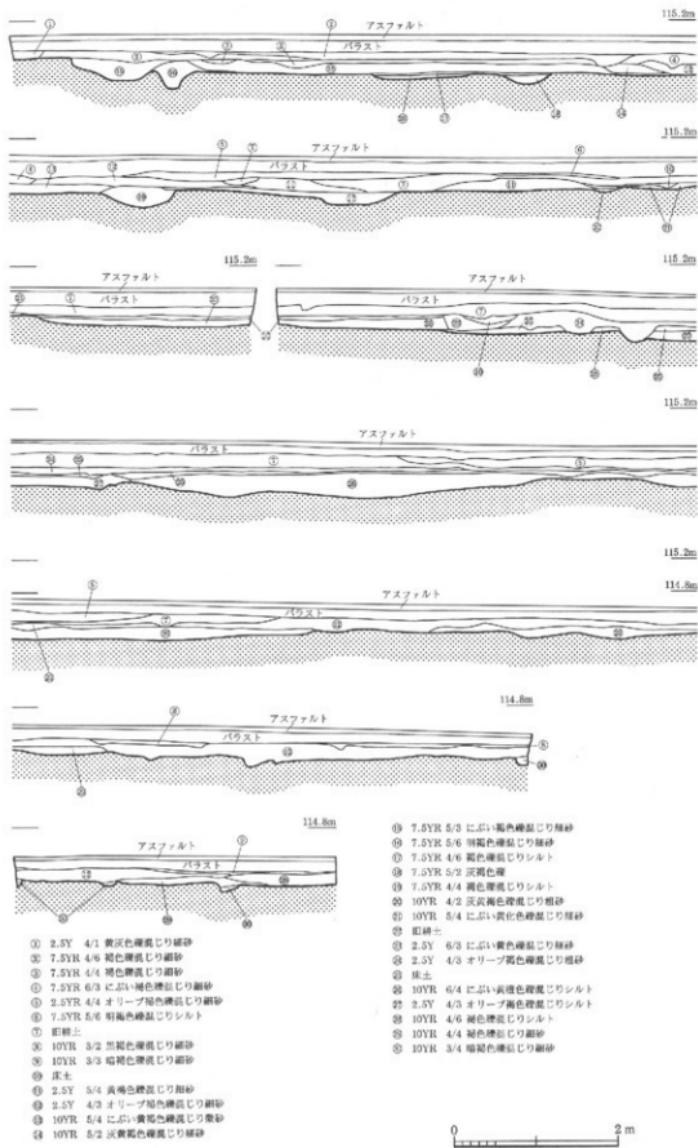
S D13は第5調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長8.1m、検出幅0.3~0.68m、深さ0.04~0.22mを測る。遺構の軸方向はN-59°-Wであった。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S D14]

S D14は第5調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長5.7m、検出幅0.36~0.58m、深さ0.07~0.17mを測る。遺構の軸方向はN-55°-Wであった。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S D15]

S D15は第5調査区の南側に位置する。遺構の規模は検出長0.6m、検出幅0.16m、深さ0.08mを測る。遺構の軸方向はN-17°-Wであった。遺構の埋土は10YR4/3にぶい黄褐色疊混じりシルトであった。



第21図 第5調査区土層断面実測図 (1/60)

(2) 土坑(第22図、図版6)

[S K177]

S K177は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は楕円形である。遺構の規模は長軸0.7m、短軸0.34m、深さ0.19mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3に近い褐色疊混じり細砂であった。

[S K178]

S K178は第5調査区の北側に位置する。遺構の北側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.58m、短軸0.53m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K179]

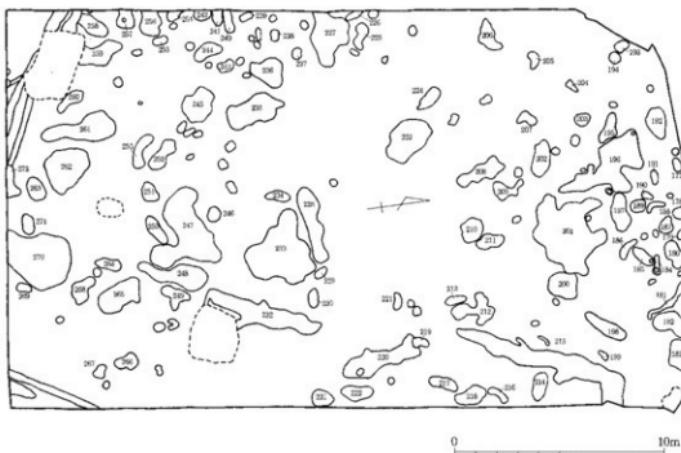
S K179は第5調査区の北側に位置する。遺構の北側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.47m、短軸0.36m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K180]

S K180は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.21m、短軸0.78m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K181]

S K181は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.46m、短軸0.38m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルト



第22図 S K177~272配置模式図

であった。

〔S K182〕

S K182は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.6m、短軸0.9m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K183〕

S K183は第5調査区の北側に位置する。遺構の北側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸1.48m、短軸0.66m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K184〕

S K184は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.94m、短軸0.36m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K185〕

S K185は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸1.24m、短軸0.48m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K186〕

S K186は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.12m、短軸0.4m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K187〕

S K187は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.84m、短軸0.64m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K188〕

S K188は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.92m、短軸0.25m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K189〕

S K189は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長軸0.7m、短軸0.6m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K190〕

S K190は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は

長軸0.58m、短軸0.32m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K191]

S K191は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.71m、短軸0.32m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K192]

S K192は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.54m、短軸0.94m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K193]

S K193は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は隅丸方形である。遺構の規模は長軸0.66m、短軸0.46m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K194]

S K194は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長軸0.56m、短軸0.52m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K195]

S K195は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.52m、短軸0.7m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K196]

S K196は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸4.62m、短軸2.3m、深さ0.41mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K197]

S K197は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.86m、短軸0.83m、深さ0.28mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S K198]

S K198は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸2.18m、短軸0.62m、深さ0.19mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K199〕

S K199は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.55m、短軸0.26m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K200〕

S K200は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.32m、短軸1.14m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K201〕

S K201は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸4.3m、短軸3.59m、深さ0.55mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K202〕

S K202は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.8m、短軸0.82m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K203〕

S K203は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.72m、短軸0.59m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S K204〕

S K204は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.74m、短軸0.32m、深さ0.03mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K205〕

S K205は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.8m、短軸0.3m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K206〕

S K206は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.61m、短軸0.76m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K207〕

S K207は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.86m、短軸0.44m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルト

であった。

〔S K208〕

S K208は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.4m、短軸0.92m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S K209〕

S K209は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.43m、短軸0.94m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S K210〕

S K210は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.25m、短軸1.08m、深さ0.17mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K211〕

S K211は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.36m、短軸0.68m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K212〕

S K212は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.02m、短軸1.57m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K213〕

S K213は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.96m、短軸0.4m、深さ0.21mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K214〕

S K214は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸1.38m、短軸0.64m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S K215〕

S K215は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.68m、短軸0.16m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K216〕

S K216は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は

長軸1.06m、短軸0.26m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K217〕

S K217は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.4m、短軸0.53m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S K218〕

S K218は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.48m、短軸0.88m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S K219〕

S K219は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.86m、短軸0.66m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S K220〕

S K220は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸3.8m、短軸1.12m、深さ0.35mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K221〕

S K221は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.82m、短軸0.34m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S K222〕

S K222は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.52m、短軸0.73m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K223〕

S K223は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.45m、短軸1.58m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K224〕

S K224は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.4m、短軸0.6m、深さ0.37mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K225〕

S K225は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.26m、短軸0.6m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K226〕

S K226は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.8m、短軸0.3m、深さ0.04mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K227〕

S K227は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.66m、短軸1.82m、深さ0.57mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K228〕

S K228は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸3.7m、短軸0.96m、深さ0.18mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K229〕

S K229は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.72m、短軸0.36m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K230〕

S K230は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.92m、短軸0.46m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K231〕

S K231は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.99m、短軸0.8m、深さ0.24mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K232〕

S K232は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸5.67m、短軸0.96m、深さ0.33mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K233〕

S K233は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.9m、短軸0.72m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシル

トであった。

〔S K234〕

S K234は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.2m、短軸0.48m、深さ0.23mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K235〕

S K235は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.8m、短軸1.36m、深さ0.4mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K236〕

S K236は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.76m、短軸1.24m、深さ0.31mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K237〕

S K237は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.54m、短径0.44m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K238〕

S K238は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.54m、短径0.4m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K239〕

S K239は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.64m、短径0.36m、深さ0.18mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K240〕

S K240は第5調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸1.12m、短軸0.44m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K241〕

S K241は第5調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.8m、短軸0.5m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K242〕

S K242は第5調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不

明である。検出した遺構の規模は長軸0.82m、短軸0.5m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K243]

S K243は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.8m、短軸0.49m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K244]

S K244は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.38m、短軸0.62m、深さ0.27mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K245]

S K245は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.66m、短軸1.44m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K246]

S K246は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.82m、短軸0.58m、深さ0.32mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K247]

S K247は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸3.76m、短軸3.08m、深さ0.24mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K248]

S K248は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸3.32m、短軸1.2m、深さ0.53mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K249]

S K249は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.4m、短軸1.03m、深さ0.47mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K250]

S K250は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.53m、短軸0.6m、深さ0.28mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K251〕

S K251は、第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.94m、短軸0.84m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K252〕

S K252は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.7m、短軸0.72m、深さ0.24mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K253〕

S K253は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.76m、短軸0.42m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K254〕

S K254は第5調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.58m、短軸0.58m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K255〕

S K255は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸0.74m、短軸0.41m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K256〕

S K256は第5調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸1.24m、短軸1.04m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K257〕

S K257は第5調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.88m、短軸0.83m、深さ0.26mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K258〕

S K258は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.52m、短軸0.72m、深さ0.21mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K259〕

S K259は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.1m、短軸0.96m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルト

であった。

〔S K260〕

S K260は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.46m、短軸0.64m、深さ0.32mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K261〕

S K261は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸3.56m、短軸1.36m、深さ0.38mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K262〕

S K262は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.16m、短軸1.86m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K263〕

S K263は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長軸1.12m、短軸0.8m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K264〕

S K264は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.26m、短軸0.52m、深さ0.23mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K265〕

S K265は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸2.23m、短軸1.22m、深さ0.49mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K266〕

S K266は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.12m、短軸0.78m、深さ0.2mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K267〕

S K267は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.66m、短軸0.54m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S K268〕

S K268は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は

長軸1.5m、短軸0.86m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K269]

S K269は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸0.74m、短軸0.42m、深さ0.19mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K270]

S K270は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸3.13m、短軸2.72m、深さ0.29mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K271]

S K271は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.96m、短径0.54m、深さ0.18mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S K272]

S K272は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長軸1.55m、短軸0.64m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は7.5YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

(3) ピット(第23図、図版6)

[S P169]

S P169は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.34m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

[S P170]

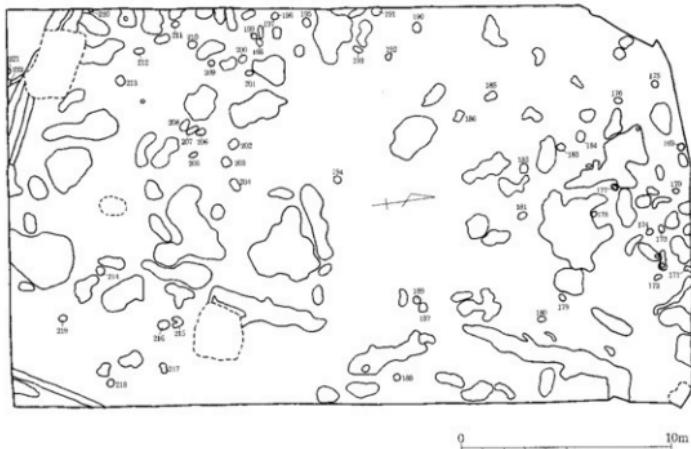
S P170は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.29m、短径0.22m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

[S P171]

S P171は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.2m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P172]

S P172は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.21m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。



第23図 S P 169～222配置模式図

〔S P 173〕

S P 173は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.26m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P 174〕

S P 174は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.3m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P 175〕

S P 175は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.3m、深さ0.19mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S P 176〕

S P 176は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.26m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

〔S P 177〕

S P 177は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.28m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S P 178〕

S P 178は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.24m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

[S P179]

S P179は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.34m、短径0.24m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P180]

S P180は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.32m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P181]

S P181は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.46m、短径0.3m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P182]

S P182は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.48m、短径0.38m、深さ0.07mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P183]

S P183は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は長径0.39m、短径0.32m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P184]

S P184は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.5m、短径0.39m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR6/1褐色疊混じり細砂であった。

[S P185]

S P185は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.56m、短径0.38m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

[S P186]

S P186は第5調査区の北側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.53m、短径0.38m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

[S P187]

S P187は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.44m、深さ0.19mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S P188〕

S P188は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.32m、深さ0.2mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S P189〕

S P189は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.34m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

〔S P190〕

S P190は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.46m、短径0.38m、深さ0.21mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P191〕

S P191は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.46m、短径0.38m、深さ0.22mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P192〕

S P192は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.34m、短径0.23m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P193〕

S P193は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.43m、短径0.24m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P194〕

S P194は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.34m、深さ0.23mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P195〕

S P195は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.42m、短径0.34m、深さ0.2mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P196〕

S P196は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.36m、深さ0.19mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P197〕

S P197は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.66m、短径0.2m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシル

トであった。

[S P198]

S P198は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.38m、短径0.27m、深さ0.14mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P199]

S P199は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は直径0.28m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P200]

S P200は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.32m、深さ0.18mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P201]

S P201は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.35m、短径0.24m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P202]

S P202は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.52m、短径0.42m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P203]

S P203は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は隅丸方形である。遺構の規模は長径0.48m、短径0.38m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P204]

S P204は第5調査区の中央部に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.62m、短径0.4m、深さ0.17mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトと7.5YR5/3にぶい褐色疊混じり細砂であった。

[S P205]

S P205は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.19m、深さ0.13mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P206]

S P206は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.46m、短径0.34m、深さ0.09mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルト

であった。

〔S P 207〕

S P 207は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.63m、短径0.28m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P 208〕

S P 208は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.57m、短径0.36m、深さ0.08mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P 209〕

S P 209は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.28m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P 210〕

S P 210は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.4m、短径0.34m、深さ0.17mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P 211〕

S P 211は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.37m、短径0.28m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P 212〕

S P 212は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.5m、短径0.28m、深さ0.15mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P 213〕

S P 213は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.47m、深さ0.19mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P 214〕

S P 214は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は橢円形である。遺構の規模は長径0.42m、短径0.34m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

〔S P 215〕

S P 215は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は径0.52m、深さ0.11mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P216]

S P216は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.56m、短径0.41m、深さ0.16mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P217]

S P217は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は不定形である。遺構の規模は長径0.49m、短径0.31m、深さ0.1mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P218]

S P218は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は円形である。遺構の規模は径0.34m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P219]

S P219は第5調査区の南側に位置する。遺構の平面形は梢円形である。遺構の規模は長径0.36m、短径0.29m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P220]

S P220は第5調査区の南側に位置する。遺構の西側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長径0.22m、短径0.16m、深さ0.12mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P221]

S P221は第5調査区の南側に位置する。遺構の南側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長径0.32m、短径0.18m、深さ0.05mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

[S P222]

S P222は第5調査区の南側に位置する。遺構の南側が調査区外に及ぶため平面形は不明である。検出した遺構の規模は長径0.42m、短径0.18m、深さ0.06mを測る。遺構の埋土は10YR4/4褐色疊混じりシルトであった。

(4) 包含層

包含層から遺物は出土しなかった。

第6節　まとめ

塩谷遺跡での既往調査は個人住宅に伴う発掘調査や立会調査によるものがそのほとんどであったが、いずれも面積が狭小で具体的な塩谷遺跡の様子を知る調査例は少なかった。

しかし本次調査では、約2800m²に及ぶ広い面積を調査することによって遺跡の様子の一端が明らかになった。

まず、遺跡の発見の機会となった弥生時代の遺構・遺物は検出されなかった。このことは弥生時代中期の土器や石鎌、石槍、蛤刃石斧、石包丁が出土した地点が病院の西側に近接するが、病院の敷地内にはこの時期の遺構が及ばないか、またはかつて存在していたがその密度は希薄であったことを示していると考えられる。

次に時代は隔たるが、江戸時代の夥しい数の土坑やピット、また井戸や溝が検出された。検出されたこれらの遺構は、陸軍幼年学校建設時にかなり削平を受けており、調査面積に比して遺物はほとんど出土しなかった。このことから、住居域というより、農耕を行う生産域として利用されたことが考えられる。したがって、S E 1は、素掘でさらに周囲での出土遺物がほとんど見られないことから農耕用の井戸であると考えられる。

また明確な時期を示す遺物はS E 1から出土した肥前系陶器嬉野焼の皿(1)であるが、この時期を重視すれば、本次調査で検出した遺構は、江戸時代に新田として市町、木戸町、木戸東町付近が開墾された時期のものと見ることができる。

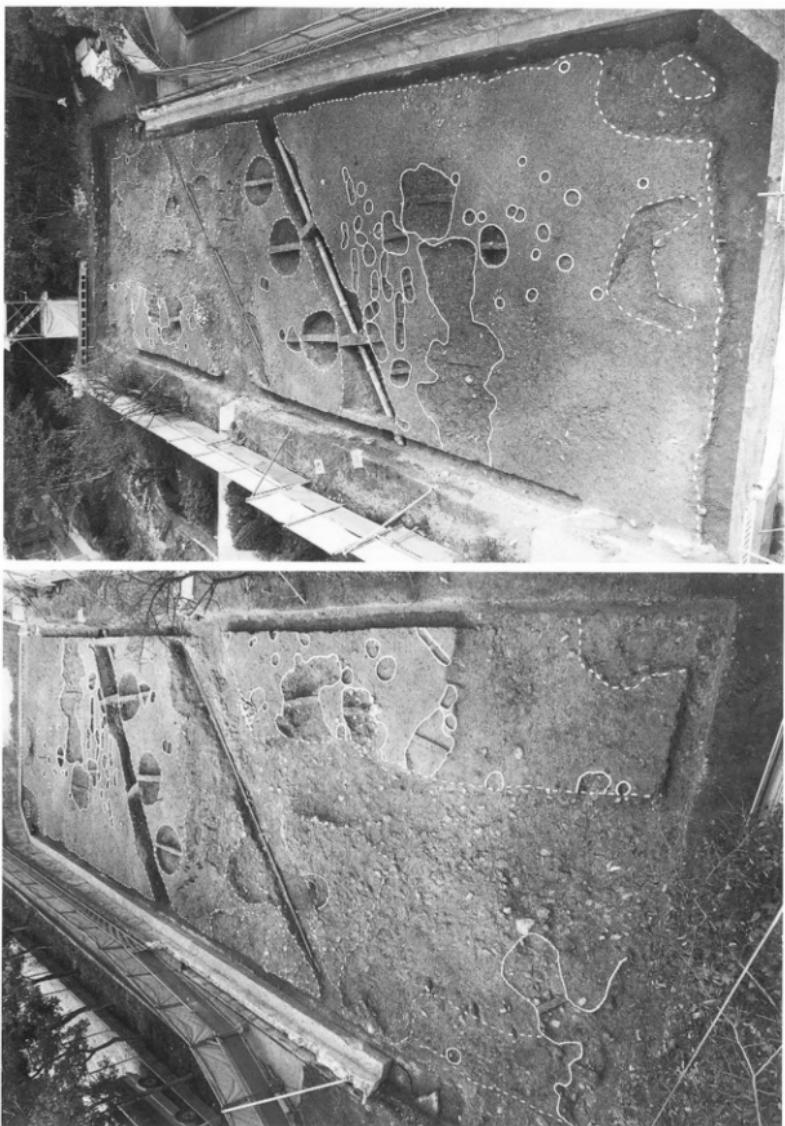
また農耕地としては、杭跡は少なく、建物のような計画的な平面形を持たず、簡易な掘形を持つ柱のようなものがかつて存在していたのであろうと見られる土坑やピットが多数存在する様子が観察できた。このような類似する遺構は、1985年から1997年にかけて市内の上原町、^(註1)上原西町で実施した上原遺跡でも確認されている。

上原遺跡は本次調査の塩谷遺跡と同様、出土遺物は極めて少ないにも関わらず、土坑やピットの数は夥しく存在する。これらの遺跡は今後比較検討することによって農耕地の利用方法がさらに具体的になるものと見られ、今後のさらなる検討と調査例の増加が望まれる。

以上のように、本次調査では貴重な成果があり、今後も小規模な面積の調査でも特に積み重ねが必要な遺跡であると確認できた。

(註1) 『河内長野市遺跡調査会報Ⅳ 上原遺跡』1997年3月 河内長野市遺跡調査会

図 版



調査区全景（上・西から、下・東から）



調査区全景（西から）



SE1（東から）



調査区全景（上から）



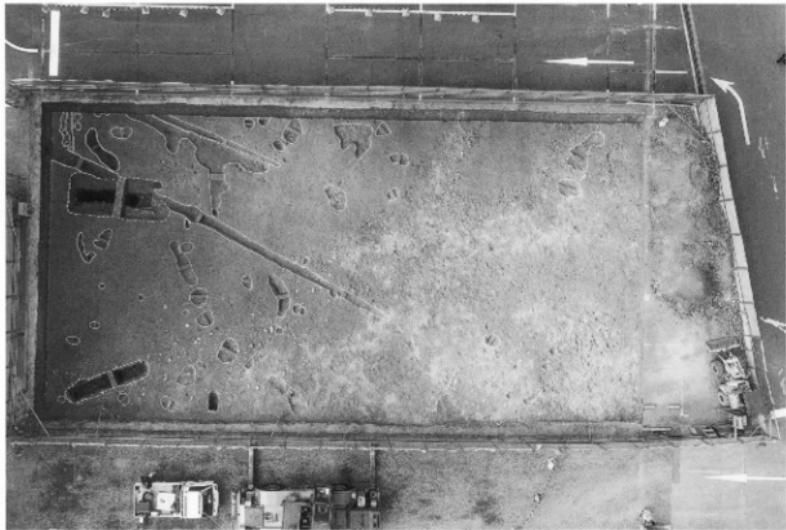
（北から）



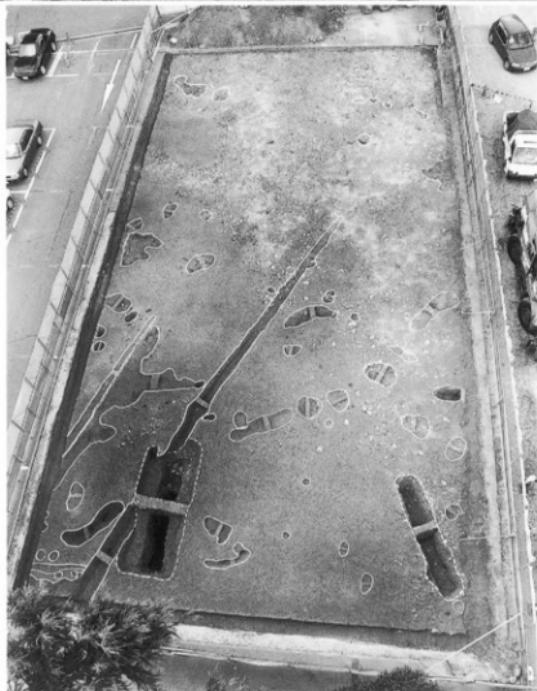
↑ SB1 (北から)



SG1 (北から) →



↑ 調査区全景（上から）



(南から) →



調査区全景（上から）



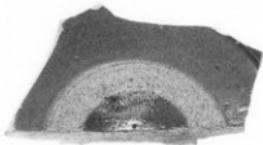
(南から)



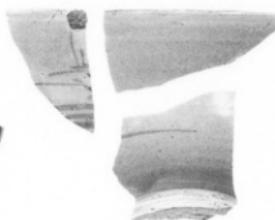
第5調査区全景（東から）



3



1



2

SE 1(1)、SK 101(3)、第2調査区包含層(2)

報告書抄録

ふりがな	しおたにいせき
書名	塩谷遺跡
副書名	河内長野市遺跡調査会報 XIV
シリーズ名	河内長野市遺跡調査会報
シリーズ番号	XIV
編著者名	尾谷雅彦 烏羽正剛 太田宏明
編集機関	河内長野市遺跡調査会
所在地	〒586-8501 大阪府河内長野市原町396-3 TEL 0721-53-1111
発行年月日	2000年6月30日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡					
しおたにいせき 塩谷遺跡	おおさかみ かわら びのの し 大阪府河内長野市 木戸東町	27216	府28 河24 04"	34° 28' 30"	135° 34' 30"	1999.10.15 2000.3.10	約2800m ²	病院建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
塩谷遺跡		近世	掘立柱建物 溝 土坑 ピット		農耕地

河内長野市遺跡調査会報 XXV
塩谷遺跡

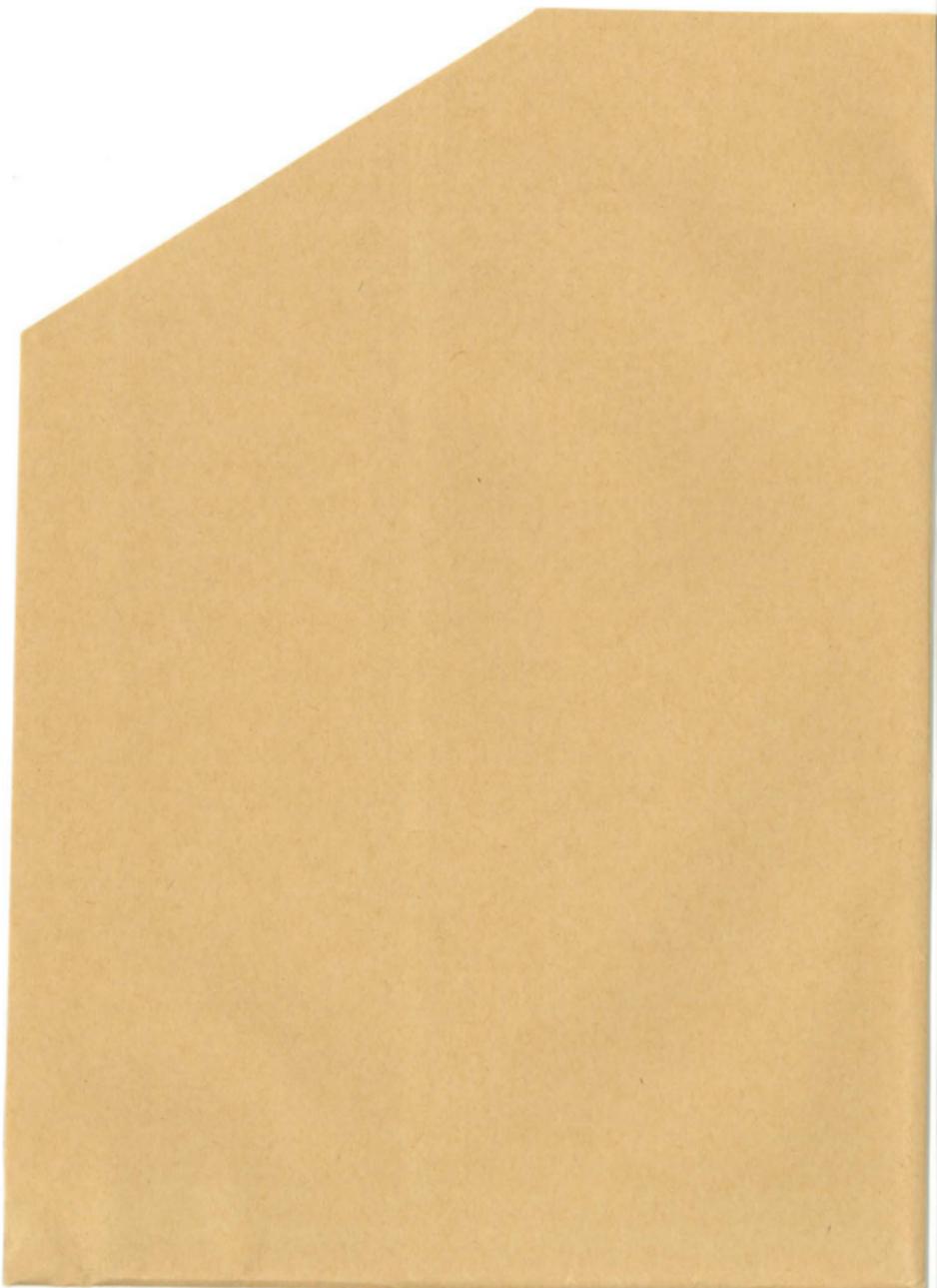
2000年6月30日発行

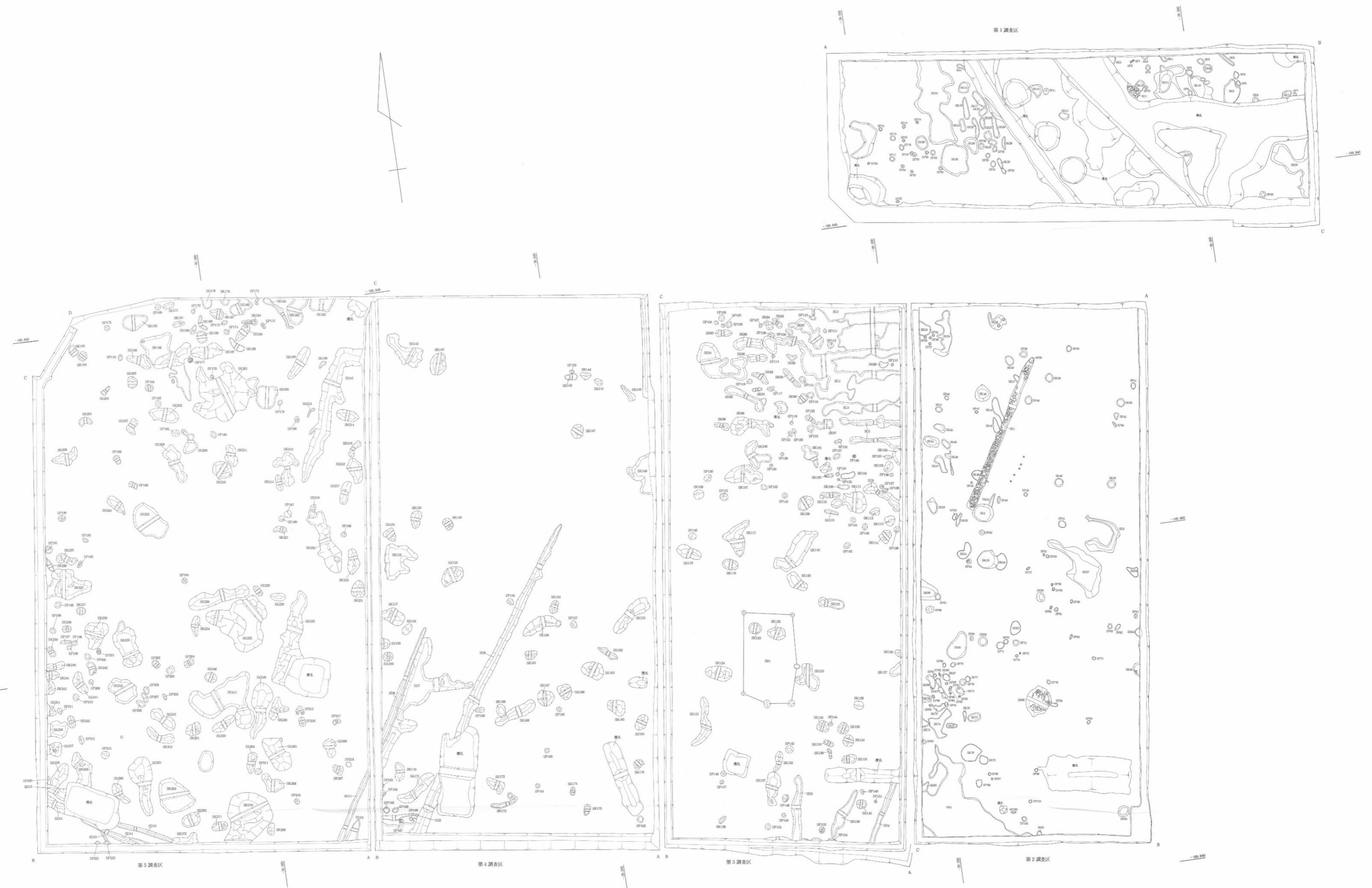
発行 大阪府河内長野市原町396-3

河内長野市遺跡調査会

0721-53-1111

印刷 (株)中島弘文堂印刷所





付図1 第1～5調査区全体図 (1/100)

